

Contents

- 2 施設の食事を作っています！
- 3 「おいしい！」の理由はここにあり！
- 4 活動報告・お知らせ

布をめぐる ワーカーズ・コレクティブの物語

装いの喜び、人と人をつなぐ力、心を込めた丁寧な仕事人が人の心も癒す。
洋裁の世界にもワーカーズ・コレクティブらしいもの作りの姿勢が光ります。



上：手作り工房
せきぐち

左：教室の生徒
さんの着物を
リフォームし
た作品

右下：人気の小物

「地域のお針箱」いと 世界に一つだけの服がつなく地域への思い

ワーカーズ・コレクティブ リフォームいと
草加市高砂2-18-39-302
Tel/fax 048-927-7714

1992年「使い捨て文化を見直す」ことを信条に、「糸と針で作る物なら何でもやる」をモットーにスタートしました。ボタン付け一つから洋服のオーダーまで受けています。

着物から自分だけのオリジナルの洋服に作り直す注文が特に好評です。常連のお客様が「いと」で作った服を着て入ったお店で話が弾み、店主に「いと」を紹介してくださることもあります。自由が丘の「手作り工房せきぐち」との仕事はそのようなきっかけで始まりました。小物を毎月納品し、他にも店で販売する服やお直しも受けています。

地域のブティック4軒からの寸法直しも心を込めて縫製します。お客様の縫いたいものを教える教室でも丁寧な作業を伝えます。地域の人に支えられて今の「いと」があると思っています。

堀 美紀子

「見つけるトビラ」紬カフェ 訪れる度に見つかる何か

ワーカーズ・コレクティブ紬
志木市本町5-7-15-101
tel 070-6433-5715

ミシンカフェを始めたきっかけの一つは、知り合いが保有していた沢山の生地を皆で見せてもらった時のこと。この生地ならスカートだパンツだワンピースだとびっくりするほどその場のテンションが上がり、布には創造力を掻き立てる力があるのだと実感したことです。

紬カフェでは自分だけのオリジナルを創る喜びを第一に、手間を惜しまず丁寧に進めることの大切さを皆さんにアドバイスしています。紬カフェは開店以来、多くの方がリピーターとなり、口コミでも増え、近頃では足りないミシンや作業台をお客さんが譲り合って使われています。

地域の居場所として、紬に関わる皆さんがそれぞれ何か「トビラ」を発見して、それをつなげる輪がひろがり、多くの人の心に響くことを願い、誠実に仕事をしていきたいと思っています。

清水 悦子



ミシンカフェ 紬

自作の服で集まった
4周年祝い



施設の食事を作っています！誰もが安全で美味しい食事を

鴻巣市

社会福祉法人 一粒との出会いと
私たちの覚悟

おから
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ雪花菜くらぶ

自分で食べたいものを選べない状況にある方たちの食事は施設などを運営する事業者の、食への考えに依る所がすべてです。誰もが食べる喜びを感じ、その心と体の健康を維持することに心配りする福祉施設の姿勢と、ワーカーズ・コレクティブの食へのこだわりが合致した「施設食」作りの現場を紹介します。

草加市

「食」へのこだわりを大切に

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ひまわり



デイサービスの食事風景



ある日の献立

「わ〜くわっく草加」は1996年10月に生活クラブ生協の相互扶助の精神のもとに設立されたデイホームです。そこで働く仲間が2015年4月に「ワーカーズ・コレクティブひまわり」を設立し、デイホームの運営も担う形で再スタートしました。

創立以来の売りが「食事がおいしいデイサービス」です。利用する皆さんにとって次の3点を大事にしています。

①安全であること 素性が確かでアレルギー情報も分かる埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会の「共同仕入」の食材を使っています。②栄養バランスが良いこと 献立に旬の食材を使用し、主菜、副菜、味噌汁の内容に栄養バランスを配慮します。③美味しく飽きないこと 見た目も大事にして素材の形を残し、必要以上に細かくしません。

調理員は総勢4人で1日2人体制です。昼食時にはスタッフ（相談員、介護員、看護師）も同席し、嚥下状況など見守ります。これからも在宅福祉を支え高齢者の生き生きした生活をめざす「食」へのこだわりを継続していきます。 長谷川幸雄



配膳中



会議の様子

「雪花菜くらぶ」は2009年にワーカーズ・コレクティブとして設立し、地域の高齢者に弁当配達を行っていました。翌々年東日本大震災が発生。ボランティアに行った福島で地元鴻巣市の障がい者支援施設を運営している社会福祉法人一粒（以下法人「一粒」）と出会い、共同で炊き出しボランティアを行ったことが今の事業につながりました。

2014年、法人「一粒」がサービス付き高齢者向け住宅（2018年から介護付き有料老人ホームに移行）を開設し、毎日3食の給食業務を請け負うことになったのです。365日の食事作りは素人だった私たちにとって想像を超えた事業でした。メンバーを増やし必死に勤務調整をしました。

また、老人ホームの食事提供の内容も細かな配慮を必要としました。食事提供の仕方は、法人「一粒」やお客様からの依頼によって行います。塩分調整、アレルギー対応、腎臓病や糖尿病患者の方への配慮、嚥む力に合わせた食材の刻み方、手の力に合わせた道具の選択、好みの対応。そして介助の方のための箸などを余分に用意する配慮も怠りません。

食材はワーカーズ連合会の「共同仕入」や地元の野菜を使い、特に生産者とのつながりを大事に新鮮な食材を利用し季節感を大事にしています。お客様に笑顔になってもらえる食事を作り続けたいと思います。 羽鳥純子

障がいを持つ方に寄り添って

さい
たま市

企業組合 ワーカーズ・コレクティブ旬

さくら草事業部



ミルサー食調理中



ミルサー食完成

中浦和の生活クラブ生協本部1階で仕出し弁当、幼稚園給食弁当を提供している「旬」は、さいたま市南区にある社会福祉法人さくら草（以下法人「さくら草」）からの委託事業として障がい者施設の昼食作りをしています。現在8名がさくら草事業部として月曜から金曜まで毎日125食の昼食を提供しています。

旬と法人「さくら草」の出会いは12年ほど前、法人「さくら草」が新施設を建てる際に、食の安全と、嚥下障害に対応できる食事の提供ができる事業者を探していたところ、設計者の方から旬を紹介されたのが始まりでした。

身体の弱い方が多いので、食材選びや衛生面で

は気を使います。ワーカーズ連合会には「共同仕入」のシステムがあり、安全性の高い食材を業務用規格で仕入れることができ、とても助かっています。衛生面については、基本的な手洗いや異物混入を防ぐことはもちろんですが、メンバーでHACCP（ハサップ～食品衛生管理手法）の講習を受け実践するなど、メンバー全員が意識して取り組んでいます。

今後もワーカーズだからこそできる食事作りで、食べる人を元気にできると嬉しいです。

根岸真澄

ワーカーズ・コレクティブ旬を選んだ理由は？

社会福祉法人 さくら草 山本理事長にお聞きました



山本理事長

「旬」の皆さんが食の安全について深く配慮していること。利用者さん一人ひとりの食形態に対応した食事作りができること。ワーカーズ・コレクティブとして主体的に働き、経営も担っていることを高く評価しています。

わ け

「おいしい！」の理由はここにあり！

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会「共同仕入」の仕組み

ワーカーズ・コレクティブ運動は協同組合運動から生まれています。1990年代から、生協組合員だった主婦たちが巷の外食産業の食事に疑問を抱き、安全性の高い手作りの食事を地域の人々に食べてもらいたいと食事業を行うワーカーズ・コレクティブを次々に設立しました。

ワーカーズ・コレクティブの連合組織は、生活クラブ生活協同組合の安全性の基準を満たす提携生産者の業務用食材を、協同組合と連携し仕入れています。多種類の食材を安定的に仕入れ、共同することで新しい素材の開発もできる基盤が作られています。この基盤の元、首都圏の連合組織がそれぞれの受発注と物流の仕組みを作っています。埼玉ワーカー



自慢の調味料 業務用

ズ・コレクティブ連合会が作り上げた仕組みが「共同仕入」です。

この「共同仕入」システムにより、一般では得にくい安全性の高い食材を手に入れることができます。地域で人々の健康や食べる喜びを作る食の事業所にとって、この仕入システムは要であり、ワーカーズの食事がおいしいのはこの素材の良さによるところも大きいのです。

埼玉連合会ではワーカーズ運動を理解する他の団体にも、この仕入システムに参加していただく規定を作っています。物流の課題などありますが、詳しいことは事務局までお問合せ下さい。

この働き方を社会に広げていくために



2018年度第20回通常総会終了

7月8日、38会員の参加ですべての議案を可決し総会が終了しました。

連合会となって20年になる今年。社会では雇用労働の現場はさらに厳しく、多様な私たちが人間らしく働くことができ、地域の豊かさに貢献できる協同の働き場への期待は高まっています。

連合会に求められている中間支援機能は、働く人の協同組合のための法律の実現が現実感を帯びている中、さらに充実しなければならない課題です。今年度組織した「設立・事業支援チーム」では、様々なワーカーズ・コレクティブ設立への支援が話し合われ行動へ移されています。

ワーカーズ・コレクティブ設立支援

現在連合会に設立の手助けを要請されている事案は数件あります。企業と連携する地元の食材を使った他にはないカフェの設立。子供たちを取り巻く環境について思いがある、教育相談に関わる方が創る教育事業。行政施設内に市民目線で運営するカフェなどです。連合会ではこれまでに設立のサポートをした経験を生かし、新しい課題にも知恵を絞り取り組んでいきます。

ワーカーズ・コレクティブで働いてみませんか？



移送サービス



お弁当作り



生協の荷物を組合員に配達



レストラン運営

みんなが主体的に、気持ちよく働くワーカーズ・コレクティブで仕事をしてみませんか？

生協の荷物を組合員に配達、お弁当作り、施設の食事作り、移送サービス、など様々な職種があります。興味のある方は、下記連絡先までご連絡ください。

川越市ワーカーズ・コレクティブ講演会

こんな働き方あったんだ！
地域に必要な事業を起こし楽しく働く

12月7日(金)18:00~20:10 開場17:50

クラッセ川越 多目的ホール 川越駅東口徒歩3分

基調講演 「地域を豊かにする当事者に」

講師 西川正さん NPO法人ハンズオン埼玉理事

地域の課題を解決し、住みやすい街にするために、当事者だからこそできる事業おこしがあります。

「お客さん」ではなく当事者である大事さに気づき、一歩踏み出す勇気が持てるはず。

事例紹介 「地域の課題を自ら解決するワーカーズ・コレクティブの取り組み」

3団体の紹介

お問合せ・申込は右記連絡先まで

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE65

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

HP <http://saitama-workers.com/>

編集 広報チーム 1部 ¥100